

第 5 回 APEC 人材養成大臣会合について

会合の概要

APEC の分野別大臣会合の 1 つであり、域内経済の持続的成長を支えるために必要となる人材養成のあり方について議論することを目的としている。会合では各エコノミーからのスピーチが行われるほか、共同声明が採択され、APEC 首脳会議に報告される。

※APEC:21 の国と地域(エコノミーと総称)で構成

(カナダ、アメリカ合衆国、メキシコ、チリ、ニュージーランド、オーストラリア、パプアニューギニア、インドネシア、マレーシア、シンガポール、ブルネイ、タイ、ベトナム、フィリピン、香港、台湾、中国、韓国、日本、ロシア)

議題

本年は、「人材開発、雇用の力強い促進、そしてあまねく広がる成長の実現」をテーマに開催される。経済危機後の経済政策、雇用労働政策のあり方や危機後の成長を見据えた人材養成のあり方等について議論され、共同声明のほか、中期的なアクションプランなどがとりまとめられる予定。

テーマ:「人材開発、雇用の力強い促進、そしてあまねく広がる成長の実現」

サブテーマ 1:雇用の維持拡大への留意、雇用重視のマクロ経済政策の実施

サブテーマ 2:社会的セーフティネットの改善、弱者への社会保護と雇用支援の強化

サブテーマ 3:人材開発の拡充と経済成長の再活性化に資する労働力の準備

会合日程

9月16日(木)～17日(金) 第5回 APEC 人材養成大臣会合

【参考:これまでの開催経緯】

第1回会合(1996年1月:マニラ(フィリピン))

テーマ:「21世紀に向けた APEC における労働力の準備:変化と挑戦」

第2回会合(1997年9月:ソウル(韓国))

テーマ:「新たな環境及び課題の下での人材養成戦略」

第3回会合(1999年7月:ワシントン D.C.(アメリカ合衆国))

テーマ:「新たなミレニアムにおける人材養成の挑戦と機会:域内金融危機の影響」

第4回会合(2001年9月:熊本(日本))

テーマ「グローバル化のもとでの社会・経済の発展と豊かさの共有を目指した人材養成」